



校訓 響生・知性・至誠

金融教育新聞

～キャッチフレーズは「Make harmony」～



発行日 令和3年8月23日 第1号

本校は今年度から2年間、宮城県金融広報委員会から「金融教育研究校」に指定され、今後、様々な事業等を通じて金融について学ぶ事になります。

「金融教育」は、お金や金融の様々な働きを理解し、それを通じて自分の暮らしや社会について深く考え、自分の生き方や価値観を磨きながら、より豊かな生活や、よりよい社会づくりに向けて、主体的に行動できる態度を養う教育です。

人は生活していく上でお金とは切っても切れない関係にあります。「お金を使う」、「お金をためる」、「(働いて) お金を得る」、「お金を借りる」など、私たちは日々、様々な形でお金と関わっています。これらのことをしっかりと身に付けるには、個人の生活に必要なお金の知識だけでなく、社会全体の金融や経済の仕組みについても理解しておくことが重要です。



人が一生の間にたどる道筋のことを「ライフコース」といいます。ライフコースを充実させるためには、具体性と計画性を持った「生活設計」を考えることが大切です。特にライフスタイルが多様化している今日では、私たち一人ひとりが、主体的に生活設計に取り組むことが重要です。

生活設計は以下の3つの要素から成り立っています。

生活設計に必要な3つの要素

テーマ1 生活設計

- ・ライフコースを順調に進むためには、具体性と計画性をもった「生活設計」を考えることが大切。
- ・また、一度立てた生活設計は、ライフステージや生活環境・社会環境の変化に合わせて定期的に見直すことも大切。

夢や目標

まずは、「自分にとって大切なことは何なのか」「何を実現したいのか」という人生観や自己実現のあり方について考えることが、生活設計全体の指針になります。

資金計画

夢や目標をより現実的なものとして考えるために、現在の家計(収入と支出)や資産の状況を正確に把握し、将来のライフイベントに向けた資金計画を立てることが大切です。

リスク管理

夢や目標、現在の状況とあわせて、将来のリスクやその備えについて考えることも大切です。

響生の皆さん、夢や目標を持っていますか？

一人暮らしの生活費 金銭管理能力チェック

ひとり暮らしの経済生活は、自分の収入に見合った収支の合う生活が原則です。

自分の将来を見通しながら、限られた収入を上手に使って、金銭管理能力を身に付けましょう！

- | | | | |
|--------------------------------|-----|---|----|
| 1 自分の収入(小遣い・仕送り・手取額)が分かる。 | Yes | • | No |
| 2 毎月の支出を記録している。 | Yes | • | No |
| 3 広告や情報を選択して良い買い物ができる。 | Yes | • | No |
| 4 健康のために必要な一日の食費を知っている。 | Yes | • | No |
| 5 夢の実現のために毎月貯金をしている。 | Yes | • | No |
| 6 クレジットカード利用のメリット・デメリットを知っている。 | Yes | • | No |
| 7 緊急事態に備えてお金を準備している。 | Yes | • | No |
| 8 お金の預け先は、利率等を考えて選択することができる。 | Yes | • | No |
| 9 自分を高めるお金の使い方(資格取得など)ができる。 | Yes | • | No |
| 10 日本や世界の経済の動きに関心を持っている。 | Yes | • | No |

Yesの数が多ければ、あなたは金銭管理能力が高く、Noの数が多ければ、低いと言えます。

人生の中で特に大きな支出として「教育費用」、「住宅費用」、「老後費用」があります。これらは人生の3大費用と呼ばれています。

あくまでも平均的な目安ですが、これらの支出に対して、どのように資金を準備するかを今のうちから考えることが「資金計画」です。

生活設計と資金計画はセットで考える必要があり、自分が描く生活や人生に向けて考えましょう。

人生の3大費用

テーマ1 生活設計

- ・人生の中の特に大きな支出として「教育費用」「住宅費用」「老後費用」があり、人生の3大費用と呼ばれている。

教育費用

目安の金額

942万円

(幼稚園3年間、小学校、高校は公立、大学は私立文系に通った場合)
注 授業料等を費用負担した場合



住宅費用

目安の金額

4,257万円

(土地付き注文住宅の場合)



老後費用

目安の金額

5,861万円

(65歳? 87歳の支出の合計)



これだけの費用が掛かるんです

知っていますか? ~金利の話~

10万円をクレジットカードのキャッシングで借りることにしました。パンフレットには年利15%と書いてありました。1年後に全額を返すとすると、返済額はいくらになりますか？

- ① 100, 150円
- ② 101, 500円?
- ③ 115, 000円



元金×利率×期間＝利息
元金×(1+利率)＝元利合計(返済金)
つまり、答えは、③になります。

100, 000円×(1+0.15)＝115, 000円
クレジットや消費者金融を利用している人の多くは、利息について理解していない人がほとんどです。借りる額が大きくなればなるほど、利息額も大きくなります。簡単に借りることができる反面、利息には要注意です！